



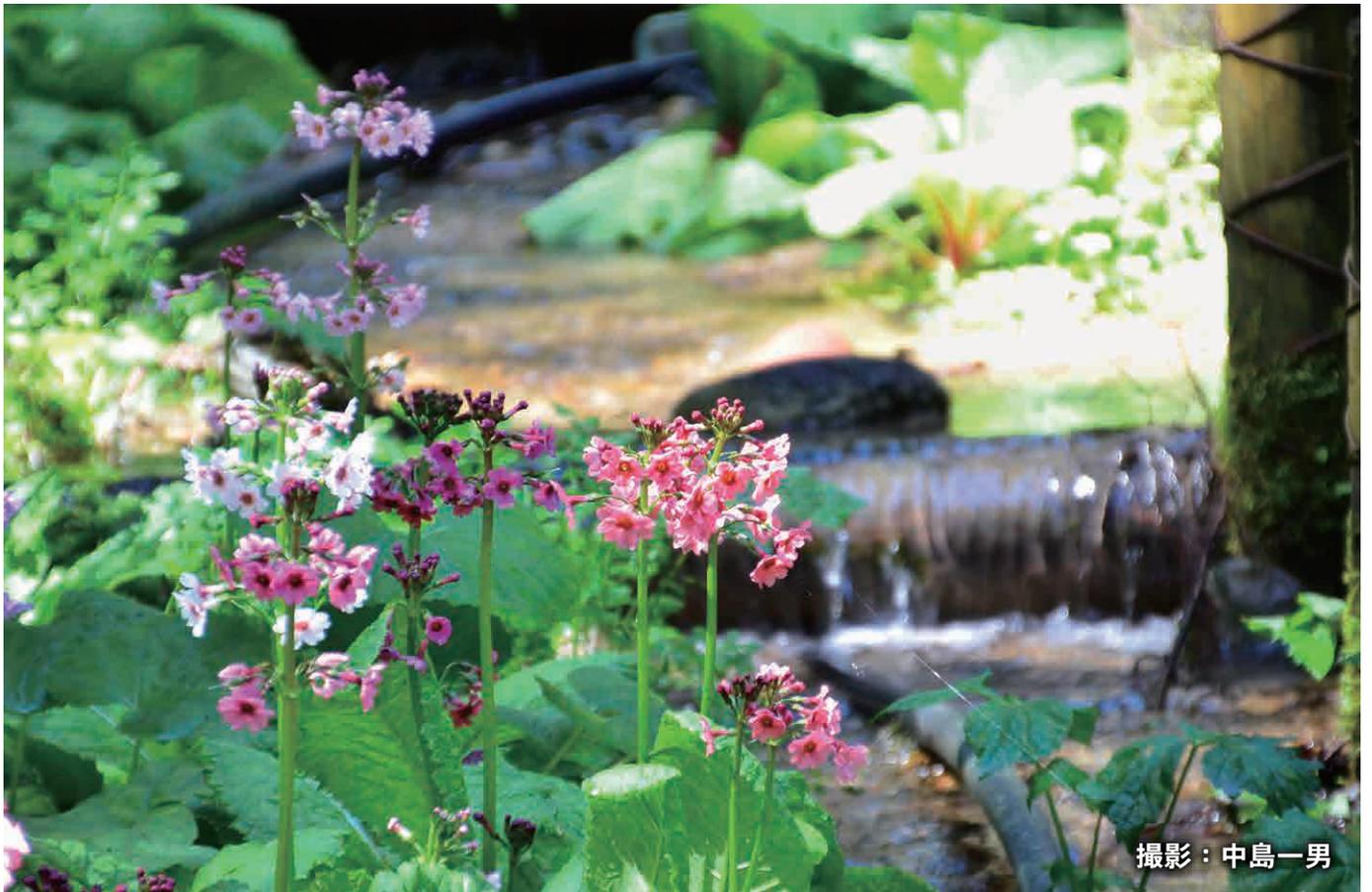
医療法人 円会
瀬口脳神経外科病院

まどか

第10号

病院理念

- ・ 私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めています
- ・ 私たちは、患者様のための心のこもった医療サービスを提供します
- ・ 私たちは、常に脳・脊髄疾患の専門病院として高度且つ最新の医療を提供します



撮影：中島一男

主な記事

- 頭痛について…………… 2・3
- 『軽度認知障害 (MCI)』について…………… 4・5
- 医師紹介…………… 6
- 外来診療案内…………… 6
- 脳ドック案内…………… 6

頭痛について

頭痛は1次性頭痛、2次性頭痛、その他に分類されます。

1次性頭痛は、いわゆる頭痛持ちで特に病気で起こるわけではない「こわくない頭痛」。

2次性頭痛の中に「こわい頭痛」があり、その代表格がくも膜下出血です。



瀬口脳神経外科病院
長谷川 貴俊 医師

くも膜下出血の大部分は、脳動脈瘤が破裂することにより生じますが、頭痛の程度は様々です。一旦発症すると、再出血を予防するために手術が必要となりますが、亡くなられてしまう患者さんも少なくありません。

手術後も合併症の予防やリハビリテーションが必要な状態であることが多く、長期の入院を要します。

くも膜下出血を起こさないためには、脳ドックなどで破裂する前に脳動脈瘤を発見し、予防的に手術を行うことで回避できます。



CT:くも膜下出血例

その他、血管の解離（日本人で多いのは椎骨動脈解離）、脳腫瘍、髄膜炎・脳炎などの感染症、頭部外傷が早期の治療を要する疾患になります。

動脈解離とは、なんらかの機序により血管壁が傷つき、血管壁内に血液が流入、血管壁の層構造が破綻している状態です。



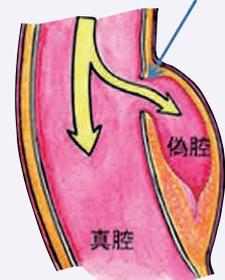
MRA:椎骨動脈解離例

血管解離の発生時に頭痛や頸部痛が生じます。

くも膜下出血（出血型）か脳梗塞（虚血型）で発症しますが、頭痛のみ（非出血・非虚血型）の場合もあります。

非出血・非虚血型の場合は、画像検査で要経過観察となります。

内膜の損傷（亀裂部）



脳腫瘍ができた場合、症状は大きく3つに分かれます。

一つは、脳腫瘍という余分なものができることにより、頭蓋骨で囲まれた内部の圧力が高くなることによって起こる症状で、頭蓋内圧亢進症状と呼ばれ、頭痛・嘔吐・傾眠などが起こります。

もう一つは、脳腫瘍によって直接圧迫された脳の機能が障害されることによる症状です。巣症状または局所症状と呼ばれています。

そしてもう一つは、脳の一部が異常興奮をきたすことによって起こるけいれん発作です。

脳腫瘍は、良性腫瘍から悪性腫瘍まで様々な種類があり、それぞれ治療法や予後は異なります。



髄膜腫(ずいまくしゅ)



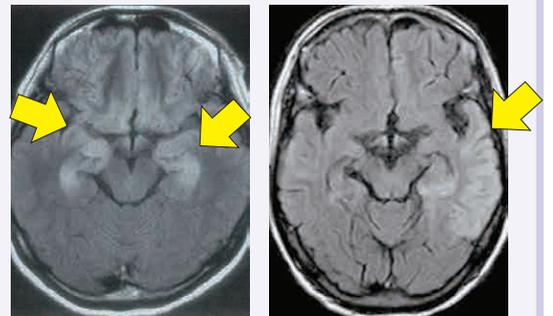
神経膠腫(しんけいこうしゅ)



下垂体腫瘍(かすいたいしゅよう)

髄膜炎・脳炎も早期治療を要する緊急疾患です。

髄膜炎とは、くも膜下腔(脳の存在しているスペース)に細菌やウイルスなどが感染して生じます。発熱、頭痛、嘔気、嘔吐などを伴います。またそれらの感染が実際に脳に及んだものが脳炎となります。脳炎になると頭痛、発熱などに加えて、意識障害や局所症状が生じます。いずれの場合も、早期診断、早期治療が重要です。



CT:脳炎の2例



急性硬膜下血腫



急性硬膜外血腫

外傷は、転落や交通事故などの外的要因により、頭蓋・頭蓋内外にダメージを負ったものになります。

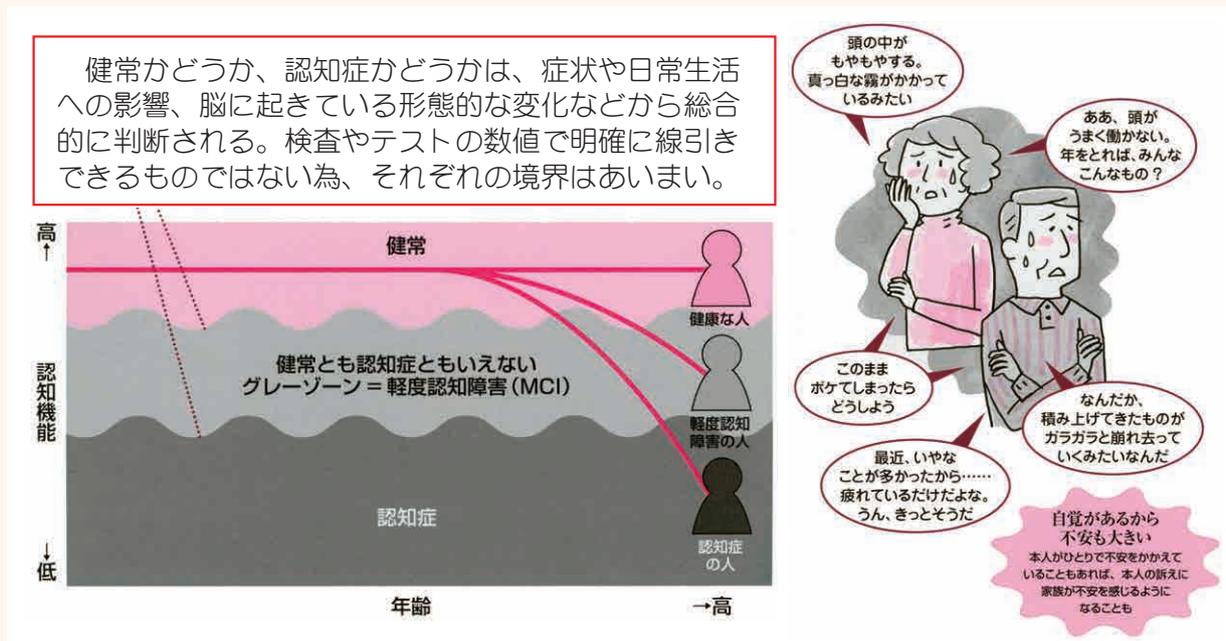
無症状もしくは頭痛のみの軽傷の場合、保存的加療で良いこともあります。意識障害や局所症状を呈している症例については緊急手術が必要となる場合が多いです。(左CTの2症例など)

『軽度認知障害 (MCI)』について

【軽度認知障害 (MCI:Mild Cognitive Impairment) とは？】

現在、日本で460万人といわれる認知症。急に発症したようにみえても、その前から認知機能（記憶、決定、理由づけ、実行など）の低下は徐々に始まっています。認知症の一手手前が軽度認知障害(MCI)です。

軽度認知障害とされる状態は、認知症と診断できるほど認知機能が低下しているわけではないけれど、年齢相応の変化ともいいがたい状態です。健常とも病的ともいえない、グレーゾーン（中間の段階）の状態です。



【年齢のせい？それとも病気？】

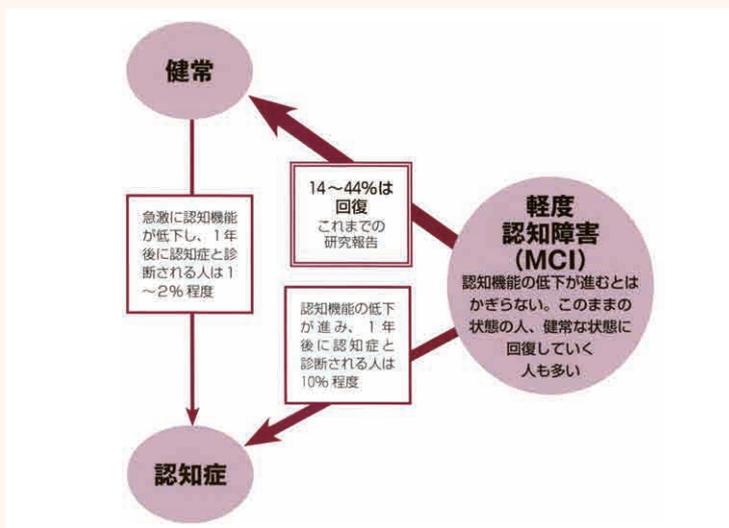
年齢をとれば「もの忘れが増えた」と感じることはよくあります。記憶力は脳が司る認知機能のひとつ。もの忘れの多さが、年齢相応の変化によるものか、認知機能の病的な低下によるものか、明確に区別できるとはかぎりませんが、特徴を表に示しますのでご参照ください。

	病的なもの忘れ	年齢相応のもの忘れ
状態	<ul style="list-style-type: none"> ●ごく最近の出来事は、重要なことでも忘れてしまう ●体験そのものを忘れてしまい、思い出せない ●自分が忘れていることに気がつかない ●もの忘れの程度が、どんどんひどくなっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ●重要なことは覚えていられるが、どうでもよいことは忘れがち ●体験の一部を思い出せなかったり、思い出すまでに時間がかかったりする ●自分の忘れやすさを自覚し、認められる ●忘れやすさの程度が急にひどくなっていくことはない

※境界はあいまい。区別しにくいこともある！

【今後はどう変化する？】

認知症の多くはある程度の期間、軽度認知障害の状態が続いたあとに起こってきます。しかし、軽度認知障害なら必ず認知症になるわけではありません。従来の研究報告でも4割を超える人が、健常な状態へ戻ると報告されています。



【軽度認知障害と分かったら：対策の基本は3つ】

認知機能の維持・回復を目標に対策を始めましょう

①健常～軽度認知障害レベルの方

：**認知力アップトレーニング**（認知機能を上げるために、自分自身でできる取り組みが大切。薬物療法を併用するかどうかは、年齢や患者さんの状況によって個別に医師が判断。）

②軽度認知障害レベルの方

：**生活改善**（食生活の改善：魚・ビタミンや類葉酸などの栄養素をとり入れる。酒類をほどほどにたしなむ。適度な運動をする習慣が大切。出来るだけ社会交流をもつ。知的な刺激をとまなう趣味を続ける。）

③軽度認知障害～認知症レベルの方

：**薬物療法**（認知機能低下を防ぐための医学的な治療を受ける。現状を維持することを目標に薬物療法を開始。軽度認知障害のなかでも認知機能の低下が目立つ場合には、認知力アップのためのトレーニングに加え、認知症に準じた薬物療法を開始するのが一般的。）

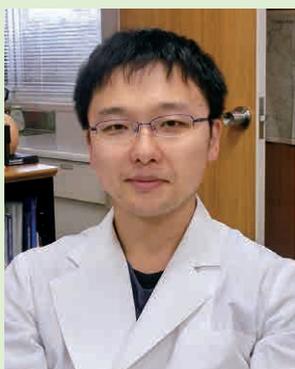
軽度認知障害に当てはまる人は、2012年の段階で日本人だけでも400万人と推定されています。要するに、認知機能が低下するのはよくあること。不運をなげいたり、恥ずべきことと気に病んだりすることはありません。「ああ、来たか！」としっかり受け止め、対策を取り始めましょう。心当たりがあり不安がある方は、一度当院へ外来受診されることをお勧めいたします。

※引用書籍：朝田隆（2014）．『まだ間に合う！今すぐ始める認知症予防』（講談社）

奥村歩（2014）．『MCI(認知症予備軍)を知らなければ認知症にならない！（主婦と生活社）

瀬口脳神経外科病院 リハビリテーション科 作業療法士 小林 健

医師紹介



吉長 恒明 医師
(信州大学医学部附属病院 神経内科)

平成 28 年 4 月 1 日より赴任いたしました。毎週木曜日の外来を担当しています。

石川県金沢市出身で信州大学を卒業し、信大病院の研修後に第三内科に入局。諏訪赤十字病院の勤務を経て、現在は信大病院で神経内科を中心とした診療を行っています。

神経内科には脳梗塞、てんかん、認知症をはじめ、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィーなどの神経難病が含まれています。

脳や脊髄の病気には頭痛、めまい、手足のしびれ、運動麻痺、振るえ、痙攣、意識障害、もの忘れなどさまざまな症状が現れることがあり、対応に苦慮されることがあると思いますので、できる限り診断をつけ、対応できる方法を一緒に考えたいとおもいます。

少しでもこちらの地域の患者さんや病院に貢献できるように努力させていただきます。

外来診療時間

受付時間	月曜日～金曜日	午前 8 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
	土曜日	午前 8 時 30 分から午前 11 時まで

休診日

日曜日、祝祭日、第 2・4 土曜日、第 1・3・5 土曜日午後、年末年始、盆休

担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	瀬口達也 院長	青山達郎	瀬口達也 院長	吉長恒明 (信大神経内科)	瀬口達也 院長	銭坂英生 又は 他 医師
	長谷川貴俊 10時から		長谷川貴俊 10時から	村田貴弘 (信州大学)	青山達郎 10時から	

担当医は変更になることがありますので、電話にてお問い合わせください

但し急患は 365 日 24 時間受け付けいたします

☎ 0265-24-6655

脳ドック ～随時予約受付中～



- ①一般コース:月～金曜日の午後に検査。後日、結果報告を実施。
- ②日帰りコース:奇数週の土曜日の午前に検査と結果報告を実施。

*お申し込み、お問い合わせは下記ドック室へお願いいたします。
ドック室直通TEL:0265-24-7667 FAX:0265-24-6776
脳ドックメール:noudokku@seguchi-nouge.or.jp
ホームページ:http://www.seguchi-nouge.or.jp/

病院だより 第 10 号

発行 ■ 医療法人円会
瀬口脳神経外科病院
住所 ■ 長野県飯田市上郷黒田218番2
発行日 ■ 2016年6月
代表電話 ■ 0265-24-6655
問い合わせ先 ■ 医療支援部

編集

脳の血管が詰まる「脳梗塞」は夏場に多く発症します。汗を多くかいたり、体からたくさんの水分が蒸発すると血液中の水分も減少します。すると血液の粘度が増して血液が流れにくくなり、血管が詰まりやすくなるのです。脳梗塞や熱中症予防のために、こまめな水分補給を心がけましょう。

後記